

IEEE1394 & USB 2.0/1.1 CD-R/RWユニット

ユーザズマニュアル

LCW-BA52FU2

目次

取扱い上のご注意	1
ごあいさつ	5
ご注意	5
共通編	6
共通編：1 本製品の特徴	6
共通編：2 使用上のご注意	9
共通編：3 各部の名称	11
共通編：4 メディアのセット/取り出しについて	12
共通編：5 PC電源連動機能について	14
共通編：6 ハードウェア仕様	15
共通編：7 補足事項	16
IEEE 1394 編	17
USB 編	43

本書の使い方

本製品はIEEE1394インターフェース、USBインターフェースのどちらにも接続することができます。そのため、本マニュアルはIEEE1394編とUSB編に分かれています。最初に共通編をお読みになった後は、IEEE1394、もしくはUSBのうち、使用するインターフェースに対応した方をお読みください。

付属品の確認

CD-R/RWユニット	1台
IEEE 1394ケーブル (6ピン × 4ピン)	1本
USB ケーブル (USB 2.0 High Speed対応)	1本
縦置き用スタンド	1セット
横置き用ゴム足	1セット
「 Software Pack 」 CD-ROM	
(以下のソフトウェア・ドライバ含む)	
「 WinCDR Lite 」	一式
「 Logitech トレイコントローラ 」	一式
「 Toast 5 Lite 」	一式
「 Windows 98用USBドライバ 」	一式
保証書 / ユーザー登録カード	1枚
CD-R/RWユニット・ユーザーズマニュアル	本書

本製品は精密電子機器です。輸送時には必ず付属の梱包材をご使用ください。

本製品に付属のドライバ、ソフトウェア類は、すべて共通のハイブリット CD-ROM で提供されているため、添付している CD-ROM は「 Software Pack 」 1枚だけです。



取扱い上のご注意

本製品を正しく安全に使用するために

- ・本書では製品を正しく安全に使用するための重要な注意事項を説明しています。必ずご使用前にこの注意事項を読み、記載事項にしたがって正しくご使用ください。
- ・本書は読み終わった後も、必ずいつでも見られる場所に保管しておいてください。

表示について

- ・この「取扱い上のご注意」では以下のような表示（マークなど）を使用して、注意事項を説明しています。内容をよく理解してから、本文をお読みください。

	警告	この表示を無視して取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う危険性がある項目です。
	注意	この表示を無視して取扱いを誤った場合、使用者が障害を負う危険性、もしくは物的損害を負う危険性がある項目です。



三角のマークは何かに注意しなければならないことを意味します。三角の中には注意する項目が絵などで表示されます。例えば、左図のマークは感電に注意しなければならないことを意味します。



丸に斜線のマークは何かを禁止することを意味します。丸の中には禁止する項目が絵などで表示されます。例えば、左図のマークは分解を禁止することを意味します。



塗りつぶしの丸のマークは何かの行為を行わなければならないことを意味します。丸の中には行わなければならない行為が絵などで表示されます。例えば、左図のマークは電源コードをコンセントから抜かななければならないことを意味します。

警告

万一、異常が発生したとき。

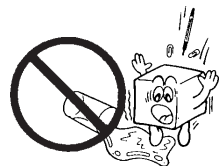
本体から異臭や煙が出た時は、ただちに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご相談ください。



内部に異物を入れないでください。

本体内部に金属類を差し込まないでください。また、水などの液体が入らないように注意してください。故障、感電、火災の原因となります。

万一異物が入った場合は、ただちに電源を切り販売店にご相談ください。



警告

分解 / 改造しないでください。

ケースは絶対に分解しないでください。感電の危険があります。
分解の必要が生じた場合は販売店にご相談ください。



表示された電源で使用してください。

電源コードは必ずAC100Vのコンセントに接続してください。



電源コードを大切に。

ACアダプタのコードは破損しないように十分ご注意ください。コード部分を持って抜き差ししたり、コードの上にものを乗せると、被服が破れて感電 / 火災の原因となります。



水場で使用しないでください。

浴槽、洗面台、台所の流し台、洗濯機など、水を使用する場所の近傍、湿気の多い地下室、水泳プールの近傍やほこりの多い場所では使用しないでください。電気絶縁の低下によって火災や感電の原因になります。



濡れた手で触らないでください。

本製品を濡れた手で触ると感電・故障の原因となります。



本製品内部のレーザー光線を直視しないでください。

本製品はレーザー光線を使用して記録型メディアへの書き込み、読み込みを行います。この光線が直接目にあると視力障害を及ぼす恐れがありますので、本製品の起動中に内部を除いたり、分解した状態で電源を入れたりしないでください。



本製品を小さなお子様の手の届く場所へ放置しないでください。機器を損傷する可能性があるだけでなく、お子様がケガをする危険があります。



注意

電源コードはなるべくコンセントに直接接続してください。タコ足配線や何本も延長したテーブルタップの使用は火災の原因となります。



電源コードは必ず伸ばした状態で使用してください。束ねた状態で使用すると、過熱による火災の原因となります。





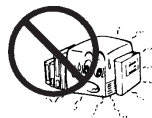
注意

本製品の稼動中に電源コード、ケーブル類を抜かないでください。
データの損失、機器の故障の原因になります。



その他の
禁止事項

通風孔(ファンはき出し口)はふさがないようにください。過熱による火災、故障の原因となります。



コネクタなどの接続端子に手や金属で触れたり、針金などの異物を挿入したりしないでください。また、金属片のある場所に置かないでください。
発煙や接触不良などにより故障の原因になります。



その他の
禁止事項

高温・多湿の場所、ホコリの多い場所、長時間直射日光の当たる場所での使用・保管は避けてください。屋外での使用は禁止します。また、周辺の温度変化が激しいと内部結露によって誤動作する場合があります。



本体は精密な電子機器のため、衝撃や振動の加わる場所、または加わりやすい場所での使用/保管は避けてください。



ラジオ・テレビ等の近くで使用しますと、ノイズを与える事があります。また、近くにモーター等の強い磁界を発生する装置がありますとノイズが入り、誤動作する場合があります。必ず離してご使用ください。



本体が汚れた場合は必ず電源を切ってから、柔らかい布に水または中性洗剤を含ませ軽くふいてください。(本体内に垂れ落ちるほど含ませないよう気をつけてください。)揮発性の薬品(ベンジン・シンナーなど)を用いますと、変形・変色の原因になる事があります。



本製品を廃棄する場合は、お住まいの地方自治体で定められた方法で廃棄してください。



その他の
強制事項

メディアの取扱いについて

本製品で使用するメディアに関しては、購入したメディアの取扱説明書等に従って正しい取扱いをしてください。傷がついたり折れ曲がったメディア等を本製品で使用すると故障の原因となります。



その他の
注意事項

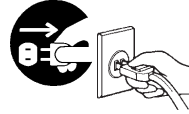
注意

電源スイッチを一度OFFにした時は5秒以上たってから「ON」
にしてください。

1・2・3・4・5



本製品を長期間使用しない場合は、電源コードのプラグをコンセントから抜いておいてください。



オーディオCDを再生するときは

本製品を使用して、オーディオCDを再生する場合には、必ず最初に音量を最小にして、適切なレベルまで少しずつ上げてください。これを行わないと機器や聴覚に障害を発生する場合があります。



その他の
禁止事項

映像や音楽作品は著作権法の保護を受けています。本製品のご使用にあたっては、著作権法で定められた範囲を逸脱しないように十分ご注意ください。本製品で変換 / 保存した映像や音楽作品は、個人的な環境で私的使用する場合以外、著作権者本人の許諾無く使用する事は、著作権法で固く禁じられています。違法なコピーは絶対に行わないでください。



その他の
注意事項

ごあいさつ

この度は弊社製品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございました。本書では本製品に関する設定 / 接続方法、機能 / 仕様等についてのご説明をいたしますので、ご使用前に必ずご一読いただきますようお願いいたします。

弊社製品によって、お客様のパソコン環境がより便利なものとなりますよう心からお祈りいたします。

ご注意

本書の一部または全部を弊社に無断で転載することは禁止されております。

本書の内容については万全を期しておりますが、万一ご不審の点がございましたら、弊社テクニカルサポートまでご連絡くださいますようお願いいたします。

本製品および本書を運用した結果による損失、利益の逸失の請求等につきましては、項に関わらず弊社ではいかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。

本書に記載されている機種名、ソフトウェアのバージョンなどは、本書を作成した時点で確認されている情報です。本書作成後の最新情報については、弊社テクニカルサポートまでお問い合わせください。

本製品の仕様、デザイン及びマニュアルの内容については、製品改良などのために予告なく変更する場合があります。

CD-ROMソフトウェアの内容の多くは、著作権法の保護を受けています。運用にあたっては著作権法で許可された範囲を逸脱しないようご注意ください。

弊社は、本製品の仕様がお客様の特定の目的に適合することを保証するものではありません。

本製品は、人命に関わる設備や機器、および高い信頼性や安全性を必要とする設備や機器（医療関係、航空宇宙関係、輸送関係、原子力関係等）への組み込み等は考慮されていません。これらの設備や機器で本製品を使用したことにより人身事故や財産損害等が発生しても、弊社ではいかなる責任も負いかねます。

本製品は日本国内仕様ですので、本製品を日本国外で使用された場合、弊社ではいかなる責任も負いかねます。また、弊社では海外での（海外に対してを含む）サービスおよび技術サポートを行っておりません。

* Windows®は米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国での商標です。FireWireはアップルコンピュータ社の登録商標です。i.LINKはソニー株式会社の商標です。Pentium®・Celeron®は米国Intel社の登録商標です。Superlink™は、MediaTek Incorporationの登録商標です。WinCDRは株式会社アブリックスの商標です。Toast®の名称及びロゴは米ロキシオ社の商標です。本書に記載されているパソコン本体の名称は、併記されている各社の商標または登録商標です。

共通編

共通編：1 本製品の特徴

- ・本製品は IEEE 1394、USB2.0/1.1 に対応した CD-R/RW ユニットです。IEEE1394 接続時および USB 2.0 接続時には CD-R メディアへの最大 52 倍速書き込みに対応しています。
また、Ultra Speed + タイプの CD-RW メディアにも対応しておりますので、最大 32 倍速での CD-RW メディアの書き換えを行うことができます。
- ・PC 電源連動機能を搭載しているため、パソコンの電源の ON/OFF に連動して本製品の電源の ON/OFF を自動的に行います。また、パソコンが省電力モードやスタンバイモードになった場合も、自動的に電源が OFF になり、復帰時に ON となります。
- ・Windows と Macintosh の両 OS に対応し ()、なおかつ高速性と簡単接続に優れたインターフェースをサポートした使い勝手の良い CD-R/RW ユニットです。
USB 接続の場合、Mac OS 9.2.2 以前の環境では本製品を使用することができません。Mac OS X の環境でご使用ください。
- ・CD-R/CD-RW メディア書き込みの際のバッファアンダーランエラーを防止する SuperLink™ 機能を搭載していますので、高速書き込み時も安定して書き込みを行います。
- ・ライティングソフトウェアには Windows 用としてアプリックス社製の「WinCDR Lite」と、Macintosh 用としてロキシオ社製の「Toast 5 Lite」を付属しています。「WinCDR Lite」は Windows 環境で CD-R/RW の書き込みの際に使用頻度の高い「バックアップ機能」「ISO 9660 (データ) 書き込み」「オーディオ CD 書き込み」の機能を提供しています。「Toast Lite」は Macintosh 環境で、Mac OS X、Mac OS 9 の両 OS に対応していません。HFS/HFS+ やオーディオ CD の書き込みはもちろん、OS 標準の書き込み機能ではできない「ハイブリッド CD 作成」や「追記書き込み」が可能です。CD 書き込み中でも他のソフトウェアを使った作業が可能な「バックグラウンドレコーディング」にも対応しています。
- ・Windows XP では「エクスプローラ上での書き込み」「Windows Media Player 上からの書き込み」に対応しています。「エクスプローラ上からの書き込み」では CD-R、CD-RW メディアに対してライティングソフトウェアを使用することなくファイルをコピーする感覚で、データ CD、オーディオ CD の書き込みが可能です。
- ・美しさ、強さ、放熱性を兼ね備えた一体型アルミボディを採用しています。放熱性能の向上により、安定したパフォーマンスを実現しています。

対応する書き込み方式

「Disc at once」	量産 CD-ROM のプレマスタ作成を行う場合などに使用します。
「Track at once」	追記書き込みを可能にします。
「Session at once」	付属ライティングソフトウェアで「Enhanced CD」のバックアップを行う場合等に使用します。
「Packet Write」	擬似的なランダムアクセスを可能にします。(本製品には Packet Write を使用するソフトウェアは付属していません。)

WinCDR Lite では、ISO9660 は「Track at once」、AudioCD は「Disc at once」と規格により書き込み方式が固定されます。

Toast Lite では、「Disc at once」「Track at once」のみ対応しています。

書き込み・読み込み速度について

本製品では各メディアに対して、以下の書き込み・読み込みが可能です。

書き込み	CD- R	52 倍速、48 倍速、40 倍速、32 倍速 24 倍速、16 倍速、8 倍速	
	CD- RW	Ultra Speed +	32 倍速、24 倍速、20 倍速 16 倍速、10 倍速
		Ultra Speed	24 倍速、20 倍速、16 倍速 10 倍速
		High Speed	12 倍速、10 倍速
		Muti Speed	4 倍速
読み込み	CD- ROM	最大52倍速	
	CD- R CD- RW	最大40倍速	

CD-R メディアで 52 倍速、48 倍速書き込みを行う場合は、48 倍速対応のメディアをご使用ください。

USB 1.1 接続時には書き込み読み込みともに最大 8 倍相当となります。

特色

- CD-ROM : 読み込み専用のメディアです。パソコンのソフトウェアから音楽 CD まで、幅広い用途で使用されています。
- CD-R : 一度だけ書き込みが可能なメディアです。いったん書き込んだデータは消去できません。書き込み方式によっては、追記書き込みが可能です。
- CD-RW : 約 1,000 回までの書き換えが可能なメディアです。



ご注意

- ・本製品はセルフパワー（ACアダプタからの電源供給）で動作します。バスパワー（IEEE1394またはUSBポートからの電源供給）では動作しません。
- ・本製品をIEEE1394インターフェース、USBインターフェースの両方に同時に接続することはできません。
- ・本製品はバスパワーではご使用になりません。必ず付属のACアダプタををAC100Vのコンセントに接続して電源を供給してください。
- ・アルミボディは熱の伝導性が高いため、本製品の動作中にボディ表面に触れると熱く感じる場合がありますが、これは異常ではありません。
- ・IEEE1394はメーカーによって「FireWire」、もしくは「i.LINK」などと呼ばれることがありますが、すべて同じものをさします。本書の中では「IEEE1394」で呼称を統一します。

共通編：2 使用上のご注意

設置の際は...

本製品およびケーブル類の接続端子部分には触れないでください。(故障の原因になります)
水平・垂直方向にて設置してください。(次ページの設置方向についてをご参照ください)

移動・輸送の際は...

本製品を移動するときは、ディスクを取り出しトレイを閉じた後、必ず本製品の電源をお切りください。
本機を移動や輸送するときは、落としたり、ぶついたりしないでください。

ご使用の際は...

トレイを出したまま放置しないでください。(内部にホコリが入り、故障の原因となります)
トレイには本製品で使用可能なメディア以外はセットしないでください。(故障の原因となります)
本機を縦置きで設置した場合は8cmディスクは使用しないでください。
無理にトレイ部分を開けないでください。(故障の原因になります)
本機に磁石など磁気を持つものを近づけないでください。(磁気の影響で、動作が不安定になることがあります)
本製品が結露した状態で使用しないでください。
(寒い場所から暖かい場所へ急に持ち込むと、水滴が付着(結露)し、誤動作、故障の原因になります)
隣接しているテレビやラジオに雑音が入るときは、2m以上離すか、コンセントを別にしてみてください。

レンズやメディアのお手入れの際は...

長時間使用すると、本製品のレンズやメディア側にほこりが付着して、正常に読み書きできなくなる恐れがあります。
使用環境や使用回数によって異なりますが市販のレンズクリーナーやディスククリーナーなどを用いて、約1年に一度お手入れをすることをお勧めします。

本機表面のお手入れの際は...

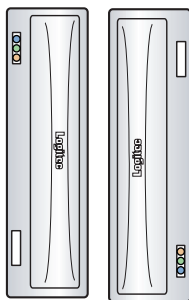
汚れは柔らかい布で軽くふき取ってください。
汚れがひどいときは、薄めた台所用洗剤(中性)を布に浸し、よく絞ってからふいてください。
化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書きにしたがってください。
ベンジンやシンナーなどの溶剤を使わないでください。

メディア読み込み時のご注意

偏心、ソリ、キズ、変形など異常なメディアを使用しないでください。最悪の場合、ドライブ内部でメディアが破損することがあり、危険です。

設置方向について

本製品は縦置き、横置きのどちらでも使用することができますが、それぞれ以下のような方向で設置してください。間違った方向で設置すると、トラブルの原因となる場合があります。



縦置きの場合

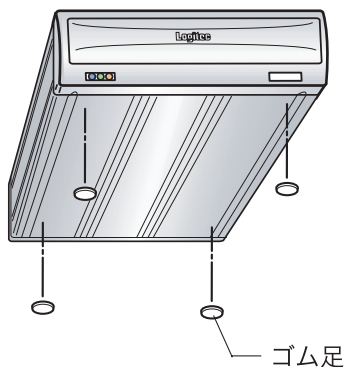
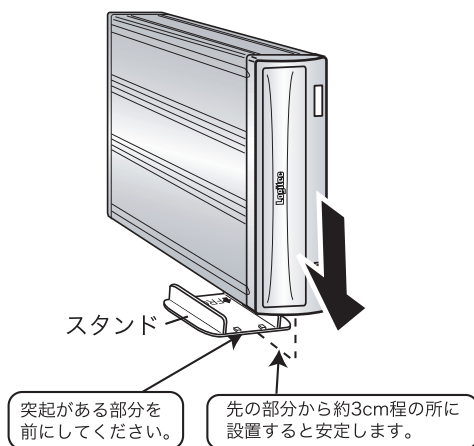
縦置きでご使用の場合、どちらの方向でも設置可能ですが、この場合は8cmディスクは全て使用できません。ご注意ください。



横置きの場合

縦置きの場合は、設置時、付属のスタンドをご使用ください。(下左図)

横置きの場合は、底面の4箇所が付属のゴム足を貼付してください。(下右図)



共通編：3 各部の名称

本製品前面



シャッター

メディアをセットするトレイが格納されています。

イジェクトボタン

トレイの出し入れに使用します。

電源表示ランプ（左側）

本製品の電源がONになると青色に点灯します。

転送モード識別表示ランプ（中央）

IEEE1394 および、USB 2.0 接続時は緑色に、USB 1.1 接続時はオレンジ色にそれぞれ点灯します。

アクセス表示ランプ（右側）

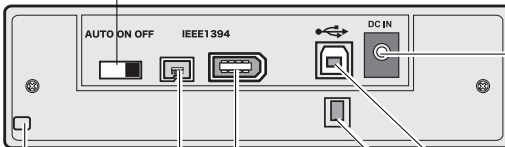
：メディア読み込み時は緑色に、書き込み時はオレンジ色に点灯・点滅します。

本製品背面

電源スイッチ

以下のように本製品の電源入力を切り替えます。

- ・AUTO... 接続先のパソコンの電源状態に連動してONとOFFを自動的に切替えます。(PC電源連動機能)
- ・ON ... 電源が常にONになります。
- ・OFF ... 電源が常にOFFになります。



DC コネクタ

付属のACアダプタのDCケーブルを接続します。

USB シリーズ B コネクタ

付属の USB ケーブルでパソコン本体の USB ポートと接続します。

盗難防止用ホール

盗難防止用にワイヤなどを取り付けておくことができます。

ケーブル抜け防止フック

ACアダプタのケーブルがDCコネクタから抜けるのを防止するためのフックです。

IEEE1394 コネクタ（4 ピン：左側）

IEEE1394 コネクタ（6 ピン：右側）

どちらか片方を付属のIEEE1394ケーブルでパソコン本体のIEEE1394ポートと接続します。パソコン本体との接続に使用しなかったコネクタはIEEE1394機器を増設するときに使用することができます。

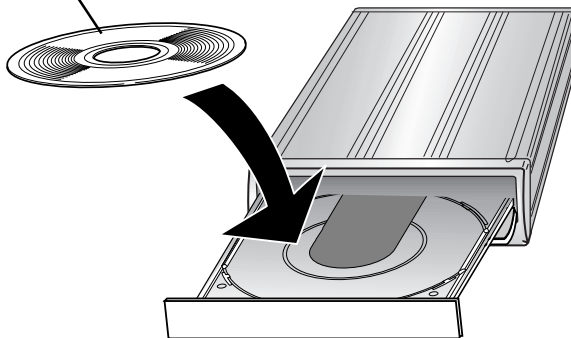
共通編：4 メディアのセット/取り出しについて

メディアのセット方法

メディアをセットする時は、本製品の電源がONになっている状態でイジェクトボタンを押してください。トレイが排出されますので、メディアをタイトルなどが印刷されている面を上にして乗せてください。

イジェクトボタンをもう一度押すか、トレイを軽く押し込むと、トレイが格納されメディアがセットされます。

タイトル面を上にしします。



メディアを取り出す際は、同様の手順でトレイを排出するか、ご使用の環境により、以下の手順で取り外してください。

Windows 環境の場合

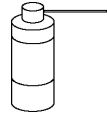
マイコンピュータ上で本製品のアイコンを右クリックして表示されるメニューから「取り出し」を選択します。

Macintosh 環境の場合

デスクトップ上にマウントされている本製品のアイコンをゴミ箱にドラッグ&ドロップするか、アイコンを選択して「アップル」キー+「E」キーを押します。

! ご注意

- ・ 本製品はトレイ排出時、はじめに勢い良く 1/2 程度排出され、その後ゆっくりになります。これは本製品の仕様です。故障ではありませんので、そのままご使用ください。
- ・ メディアをセットしたまま本製品を移動すると、メディアを損傷する場合があります。損傷を避けるために、本製品の電源を切るときにはメディアがセットされていないことを確認してください。
- ・ メディアやトレイにゴミやホコリが付着しているとエラーの原因になります。メディアの書き込みを行う際には、市販のダストクリーナでエアを吹き付けて、メディアとトレイの清掃を行ってください。
- ・ トレイを排出したまま放置しないでください。ゴミやホコリの侵入によって内部部品が劣化する場合があります。

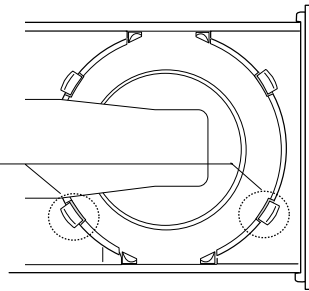


ダストクリーナ

! 縦置きで設置した場合のご注意

本製品を縦置きで設置した場合は、メディアをセットする際にトレイ下部の 2 カ所のツメでメディアを支えるようにしてください。

ツメ



縦方向で設置した場合、8cm ディスクは全て使用できません。ご注意ください。

! ご注意

- ・ セットしたメディア内のファイルが開いている状態では、トレイを排出することはできません。

共通編：5 PC 電源連動機能について

本製品はPC電源機能を搭載していますので、接続先のパソコンの電源のON/OFFに連動して本製品の電源のON/OFFが切り替わるようになっています。いったん本製品背面の電源スイッチを「AUTO」に設定してパソコンに接続すれば、後はパソコンの電源のON/OFFに連動して本製品の電源もON/OFFされます。

動作	電源スイッチ		
	AUTO時	ON時	OFF時
起動中のパソコンに接続した時	ON	常にON	常にOFF
接続先のパソコンの電源をONにした時	ON		
接続先のパソコンがスリープや省電力モードから復帰したとき	ON		
USBケーブルまたはIEEE1394ケーブルを外した時	OFF		
パソコンがシャットダウンした時	OFF		
パソコンが、スリープや省電力モードになった時	OFF		



ご注意

- ・ご使用のパソコンの仕様によっては電源連動機能がうまく働かない場合があります。
その場合は背面の電源スイッチにて電源のON/OFFを切り替えてください。
 - ・スタンバイ状態から復帰する時にシステムが不安定になるような場合には、スタンバイ（省電力）をOFFに設定してください。
 - ・本製品を接続した状態でパソコンを起動する際、PC電源連動機能により、本製品の電源がON/OFFを繰り返す場合がありますが、問題ありませんのでそのままご使用ください。
-

共通編：6 ハードウェア仕様

機種名		LCW - BA52FU2	
ドライブメーカー		BEHAVIOR TECH COMPUTER CORP. (BTC)	
設定可能な*1 書き込み速度	CD - R	52 倍速、48 倍速、40 倍速、32 倍速 24 倍速、16 倍速、8 倍速	
	CD - RW	32倍速 / 24倍速 / 20倍速 / 16 倍速 12倍速 / 10倍速 / 4 倍速	
読み込み速度 *1	CD- ROM	最大 52 倍速	
	CD- R CD- RW	最大 40 倍速	
インターフェース		IEEE1394a - 2000 USB 2.0 High- Speed (USB 1.1互換)	
コネクタ形状		IEEE1394コネクタ 6 ピン × 1 IEEE1394コネクタ 4 ピン × 1 USB シリーズ B コネクタ × 1	
ローディング方式		トレイ方式	
バッファメモリ		2MB	
平均シークタイム		90 ms	
最大データ *2 転送速度 (IF)	IEEE1394	400Mbps	
	USB	480Mbps (High- Speed) 12Mbps (Full- Speed)	
メディアとの最大データ転送速度 *2		7800KB/ s	
環境条件 *3	動作時	温度	10 ~ 35
		相対湿度	20% ~ 70%
	保管時	温度	- 10 ~ 50
		相対湿度	20% ~ 90%
入力電圧		AC100 V ± 10% 50 / 60 Hz	
消費電力		23 W	
外形寸法	幅 × 高さ × 奥行き	158 × 50 × 252 mm *4	
質量		1.8 kg	
設置方向		水平 / 垂直	

*1 USB 1.1 接続時は最大 8 倍速。

*2 理論値

*3 ただし、結露なきこと。

*4 横置き時、突起部を除く。

共通編：7 補足事項

Logitech トレイコントローラについて

(Windows 環境のみ)

本製品を Windows 環境でご使用の場合、付属の「SoftwarePack」CD-ROM より「Logitech トレイコントローラ」をインストールして使用することができます。「Logitech トレイコントローラ」の主な特徴とインストール方法は以下のとおりです。

特徴

- ・PC 電源連動機能付きの DVD/CD ユニットで、ディスクの取り忘れを防ぎます。
- ・キーボードのキーを割り当てることにより、手元から DVD/CD ユニットのトレイを出し入れできます。

インストール方法

付属の「SoftwarePack」CD-ROM を CD-ROM トレイにセットしてください。

自動的にセットアップランチャーが起動し、右の画面が表示されますので、「Logitech トレイコントローラ」ボタンをクリックしてください。

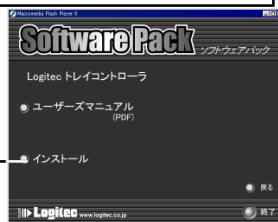
クリック



上の画面が表示されない場合、タスクバー上の「スタート」ボタンをクリックして表示されるメニューから「ファイル名を指定して実行」を選択して、名前の横のテキストボックスに「Q:¥start.exe」を入力し、「OK」ボタンをクリックしてください。（「Q:」は「SoftwarePack」の CD-ROM がセットされた CD-ROM ドライブのドライブ名です。異なる場合は正しいドライブ名を入力してください。）

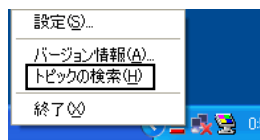
右の画面が表示されますので、インストールボタンをクリックしてください。この後は画面の指示に従い、インストールを実行してください。

「インストール」ボタンをクリック



使い方について

Logitech トレイコントローラの使用方法は、セットアップランチャーの「ユーザーズマニュアル (PDF)」ボタンをクリックするか、インストール後に、ウィンドウ右下のアイコンを右クリックして表示されるメニューから、「トピックの検索」を実行してください。



Logitech トレイコントローラのアイコン



IEEE1394 編

目 次

第 1 章	はじめに	19
1.1	IEEE1394 接続の概要	19
第 2 章	Windows 環境での接続とインストール	20
2.1	接続の前に	20
2.2	接続の手順	22
2.3	接続結果の確認	23
2.4	ライティングソフトウェアのインストール	24
第 3 章	Macintosh 環境での接続とインストール	26
3.1	ライティングソフトウェアのインストール	26
3.2	接続の手順	28
3.3	接続/インストール結果の確認	30
第 4 章	補足事項	31
4.1	本製品を取り外す場合は	31
4.2	トラブルシューティング	33
4.3	デバイス上の登録名について	35
4.4	Windows XP で直接書き込みを行う場合	36
4.5	使用環境について	37
4.6	IEEE1394 機器の増設について	40

第1章 はじめに

1.1 IEEE1394 接続の概要

本製品を IEEE1394 インターフェースに接続する場合、以下のような特徴があります。

IEEE1394 は、最大データ転送速度 400Mbps (理論値) を誇る高速インターフェースです。

ホットプラグをサポートしていますから、パソコン本体の電源が ON になっている状態でも接続 / 取り外しを行うことができます。

ご注意

- ・ 本製品への電源供給はセルフパワー (電源コードからの電源供給) でなければなりません。バスパワー (IEEE1394 インターフェースからの電源供給) では使用できません。
- ・ 本製品を IEEE1394 接続する場合の使用環境については、第4章「4.5 使用環境について」をご参照ください。
- ・ 本製品に IEEE1394 ケーブル、USB ケーブルの両方を同時に接続しないでください。(IEEE1394 接続時には USB ケーブルを外してください)

第 2 章

Windows®環境での 接続とインストール

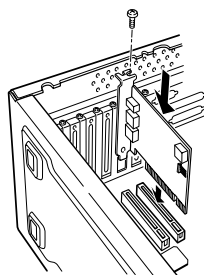
ここでは Windows 環境での本製品の接続とライティングソフトウェアのインストール方法についてご説明いたします。

2 . 1 接続の前に

IEEE 1394 インターフェイスボードの接続

パソコン本体に IEEE 1394 ポートがない場合は別売りのインターフェイスボード（PCI 用インターフェイスボード、もしくは CardBus 対応インターフェイスカード）が必要になります。

この場合、本製品の接続を行う前にインターフェイスボードのマニュアルにしたがって接続やドライバのインストールを行っておいてください。



IEEE 1394 のインターフェイスボード/カードは、以下の型番で弊社から発売されているものをご使用ください。

PCI バス用 IEEE 1394 インターフェイスボード

型番	バス	備考
LHA - 1394V	PCI	インターフェイスボード単体 Windows XP, Me, 98 SE, 2000対応
LVC - MG 2L		ビデオ活用キット Windows Me, 98 SE, 2000対応

CardBus 対応 IEEE 1394 インターフェイスカード

型番	バス	備考
LPM - CB 1394L	CardBus	インターフェイスカード単体 Windows XP, Me, 98 SE, 2000 Mac OS 9.0 ~ 9.2.2 Mac OS X 10.1.3 以降対応

IEEE1394 ドライバのアップデート

(Windows 98 Second Edition のみ)

Windows 98 Second Edition には IEEE 1394 ドライバが標準添付されていますが、このドライバに対してはマイクロソフト株式会社からアップデートファイルが供給されています。このアップデートを行うことによって、IEEE 1394 機器の安定性とパフォーマンスが向上します。

マイクロソフト株式会社のご厚意により、このアップデートファイルは付属の「SoftwarePack」CD-ROM に収録されています。

Windows 98 Second Edition をご使用の場合、以降の作業を行う前に、「SoftwarePack」CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットして自動起動するセットアップランチャーから「サポート」を選択し、「Windows 98 SE 用 IEEE 1394 アップデータ」をインストールしてください。



1. 「サポート」ボタンをクリックします。



2. 「Windows 98 SE 用 IEEE 1394 アップデータ」ボタンをクリックしてアップデートファイルをインストールしてください。



ご注意

上記の作業は Windows 98 Second Edition のみで必要なものです。Windows Me や Windows XP、2000 では行わないでください。

セットアップ画面が自動的に起動しない場合は、タスクバー上の「スタート」ボタンをクリックして「ファイル名を指定して実行」を選択し、表示される画面で「Q:\start.exe」と入力し、「OK」ボタンをクリックしてください。

ここで入力する「Q:」は CD-ROM がセットされている CD-ROM ドライブのドライブ名です。環境により異なりますので、正しいドライブ名を指定してください。

2.2 接続の手順

接続はパソコンの電源がONになっている状態で行います。

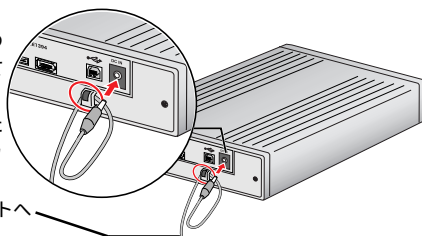
この時、Windows XP, 2000 をご使用の場合は管理者権限のあるユーザーとしてログインしてください(「コンピュータの管理者」や「Administrators」等)。

接続の手順

付属のACアダプタを使用して、本製品のDCコネクタと電源コンセントを接続してください。

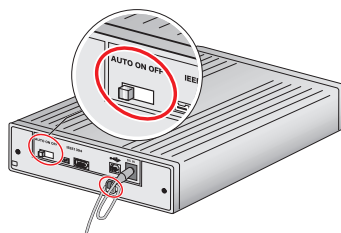
ACアダプタのコードは引き抜け防止のため、右図のようにケーブル抜け防止フックにかけておいてください。

電源コンセントへ



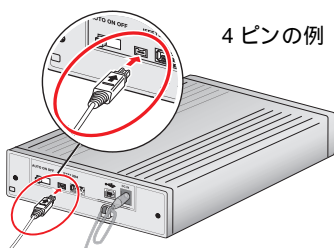
背面の電源スイッチを「AUTO」または「ON」に設定してください。

「AUTO」に設定するとPC電源連動機能が有効になります。



本製品に付属のIEEE1394ケーブルを接続します。

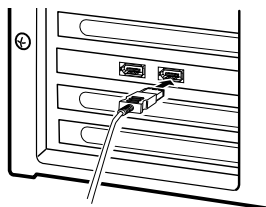
- ・接続先のパソコンのIEEE1394ポートが6ピンタイプの場合は、4ピンのコネクタを本製品に接続してください。
- ・接続先のパソコンのIEEE1394ポートが4ピンタイプの場合は、6ピンのコネクタを本製品に接続してください。



ここで使用しないコネクタは、IEEE1394機器の増設を行うときに使用しますが、今は開いたままで構いません。

IEEE1394ケーブルのもう片方のコネクタをパソコン本体のIEEE1394ポートに接続します。以上で接続は終了です。

6ピンの例



！ ご注意

- ・本製品を IEEE1394 インターフェース、USB インターフェースの両方同時に接続することはできません。
- ・接続の際、必ず最初に本製品の電源を「AUTO」または「ON」にしてください。本製品に電源が供給されていない状態で接続を行うとトラブルが発生する場合があります。
- ・ご使用のパソコンの仕様によっては電源連動機能がうまく働かない場合があります。その場合は背面の電源スイッチにて電源の ON/OFF を切り替えてください。
- ・本製品はバスパワーで使用することはできません。必ず電源コードをコンセントに接続してください。
- ・複数の IEEE 1394 機器を使用している場合、他の機器が動作しているときに本製品を接続しないでください。トラブルの原因となります。
- ・複数の IEEE 1394 機器を接続する場合は、「4 . 6 IEEE 1394 機器の増設について」をご参照ください。

2 . 3 接続結果の確認

接続後、本製品が自動的に認識され Windows の標準ドライバがインストールされます。「マイコンピュータ」をダブルクリックして開き、以下のアイコンが新しく登録されていたら本製品は正しく認識されています。次に付属のソフトウェアをインストールして CD-R/RW 書き込みの準備をします。「2 . 4 ライティングソフトウェアのインストール」へお進みください。



Windows XP で表示
されるアイコン



Windows Me , 98 , 2000 で表示
されるアイコン

アイコンが新しく登録されない場合は、第4章の「4 . 2 トラブルシューティング」に従ってチェックを行ってください。

2.4 ライティングソフトウェアのインストール

接続後、本製品はCD-ROMドライブ（リーダ）として使用することができます。ただし、まだソフトウェアがインストールされていないため、CD-R、CD-RWメディアへの書き込みはできません。

CD-R、CD-RWメディアへの書き込みには専用のソフトウェアを使用する必要があります。以下の手順で付属のCD-R/RWライティングソフトウェア「WinCDR Lite」をインストールしてください。

「WinCDR Lite」のインストール

インストール方法

本製品付属の「SoftwarePack」CD-ROMをCD-ROMトレイにセットしてください。自動的にセットアップランチャーが起動しますので「WinCDR Lite」のボタンをクリックしてください。

このボタンをクリック



右の画面が表示されます。「インストール」ボタンをクリックしてください。この後は画面の指示に従いインストールを実行してください。

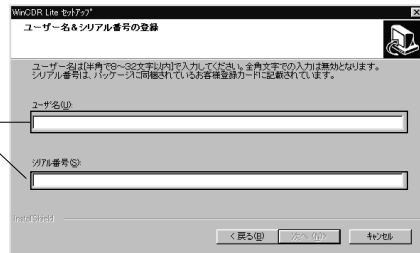
このボタンをクリック



CD-ROMの自動挿入機能が有効になっていない場合は、上の画面が表示されません。その場合、タスクバー上の「スタート」ボタンをクリックして表示されるメニューから「ファイル名を指定して実行」を選択して、名前の横のテキストボックスに「Q:¥start.exe」を入力し、「OK」ボタンをクリックしてください。（「Q:」は「SoftwarePack」のCD-ROMがセットされたCD-ROMドライブのドライブ名です。異なる場合は正しいドライブ名を入力してください。）

「WinCDR Lite」をインストール中に以下の「ユーザー名&シリアル番号の登録」画面が表示されます。ご使用のユーザー名および「WinCDR Lite」のシリアル番号を入力してください。ここではすべて半角英数字を使用してください。全角文字での入力は無効となります。

ユーザー名とシリアル番号
をそれぞれ入力します。



- ・ユーザー名は半角で8文字から32文字までの英数字で入力してください。
- ・ここで入力するシリアル番号は「WinCDR Lite」のシリアル番号(株式会社アプリックスのお客様登録カードに記載されたもの)です。本製品自体のシリアル番号ではありませんのでご注意ください。

WinCDR Lite のシリアル番号は、本製品に同梱されている「WinCDR Lite ライセンスカード」の下の欄に貼られたシールに記載されています。

使用方法について

「WinCDR Lite」のご使用方法は、インストール後以下の場所に保存されているPDF形式の「ユーザーガイド」をご参照ください。

「スタート」 「プログラム」 「WinCDR」 「WinCDR ユーザーガイド」

WinCDR Lite のユーザーガイドはPDFファイル形式でソフトウェアと一緒にパソコンにインストールされます。PDFファイルを参照するには「Acrobat Reader」が必要となります。ご使用のパソコンに「Acrobat Reader」がインストールされていない場合は、セットアップランチャーの「サポート」ボタンをクリックして表示される画面からインストールできます。

⚠️ ご注意

メディアへの書き込みを行う場合、必ず本製品を接続してから、ライティングソフトウェアを起動してください。ライティングソフトウェアを起動後に本製品を接続すると、ライティングソフトウェア側から本製品が認識されない場合があります。

第3章

Macintosh®環境での 接続とインストール

ここではMacintosh環境での本製品のライティングソフトウェアのインストールと接続の方法についてご説明いたします。

3.1 ライティングソフトウェアのインストール

Macintosh環境では本製品を接続する前に必ず以下の手順で付属のライティングソフトウェア「Toast Lite」をインストールしてください。

「Toast Lite」のインストール手順

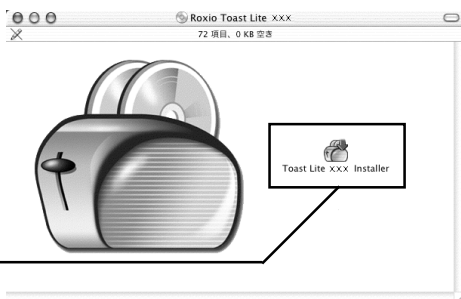
Macintoshのシステムを起動して、CD-ROMドライブに本製品付属の「Software Pack」CD-ROMをセットしてください。

デスクトップにマウントされたCD-ROMのアイコンをダブルクリックしてください。

右の画面が表示されます。

「Toast Lite x.x.x Installer」と書かれたアイコンをダブルクリックしてください。

このアイコンをダブル
クリック



x.x.x.の部分にはソフトウェアのバージョンが表示されます。

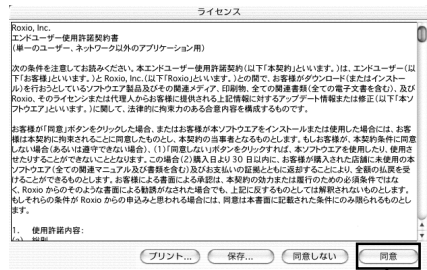
右の画面が表示されます。「続ける」ボタンをクリックしてください。

「続ける」をクリック



このインストールプログラムは、MindVisionソフトウェアのInstaller VISEで作成されました。

「使用権許諾契約書」の画面が表示されます。内容を良くご確認の上、「同意」ボタンをクリックしてください。



内容を確認し、同意する場合は
「同意」をクリック

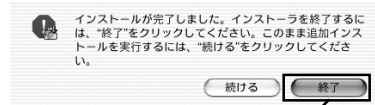
ここで「同意しない」をクリックするとインストールが中止されます。

右の画面が表示されます。「インストール」ボタンをクリックしてください。



「インストール」をクリック

インストールが実行され、終了すると以下の画面が表示されます。「終了」ボタンをクリックしてください。



「終了」をクリック

以上で「Toast Lite」のインストールは終了です。「SoftwarePack」CD-ROMをCD-ROMドライブから取り出しておいてください。次に本製品の接続を行います。「3.2 接続の手順」へお進みください。

3.2 接続の手順

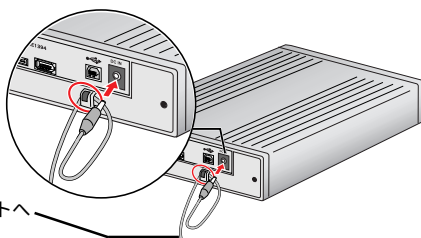
接続はパソコンの電源がONになっている状態で行います。

接続の手順

付属のACアダプタを使用して、本製品のDCコネクタと電源コンセントを接続してください。

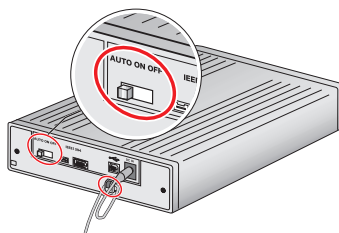
ACアダプタのコードは引き抜け防止のため、右図のようにケーブル抜け防止フックにかけておいてください。

電源コンセントへ

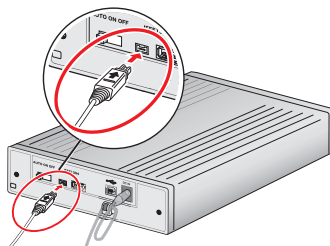


背面の電源スイッチを「AUTO」または「ON」に設定してください。

「AUTO」に設定するとPC電源運動機能が有効になります。

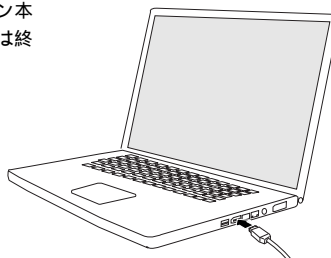



本製品に付属のIEEE1394ケーブルの4ピンのコネクタを接続してください。



ここで使用しないコネクタは、IEEE1394機器の増設を行うときに使用することができます。

IEEE1394ケーブルの6ピンのコネクタをパソコン本体のIEEE1394ポートに接続します。以上で接続は終了です。



 **ご注意**

- ・接続の際、必ず最初に本製品の電源を「AUTO」または「ON」にしてください。本製品に電源が供給されていない状態で接続を行うとトラブルが発生する場合があります。
- ・ご使用のパソコンの仕様によっては電源連動機能がうまく働かない場合があります。その場合は背面の電源スイッチにて電源のON/OFFを切り替えてください。
- ・本製品はバスパワーで使用することはできません。必ず電源コードのプラグをコンセントに接続してください。
- ・iBook (Dual USB) をご使用の場合は、別途 6 ピン - 6 ピンの IEEE1394 ケーブルをご用意の上、6 ピンの IEEE1394 コネクタにケーブルを接続してください。この機種では、4 ピンの IEEE1394 コネクタにケーブルを接続すると、本製品が認識されない場合があります。
- ・複数の IEEE 1394 機器を使用している場合、他の機器が動作しているときに本製品を接続するのはやめてください。トラブルの原因となります。
- ・複数の IEEE 1394 機器を接続したい場合は、「4 . 6 IEEE 1394 機器の増設について」をご参照ください。

3 . 3 接続 / インストール結果の確認

ここまでの作業が終了したら、「3 . 1 ライティングソフトウェアのインストール」でインストールしたライティング・ソフトウェア「Toast Lite」を起動して、メニューバーの「レコーダ」から「レコーダ情報」を選択し、「レコーダ情報」ウィンドウで本製品が選択されていることを確認してください。選択されていない場合は、ポップアップメニューの一覧から本製品の型番を選択します。

本製品の型番は「BTC BCE5232IM」になります。

確認が完了したら、作業は終了です。これでToast Lite上からCD-R/CD-RWメディアの書き込みを行うことができる状態になりました。書き込み方法についてはToast Liteのマニュアルをご参照ください。

第4章では本製品を取り外す場合の注意事項を説明しますので、そちらも必ずお読みください。

第4章 補足事項

4.1 本製品を取り外す場合は

本製品はインターフェースとして IEEE 1394 を採用しているため、ホットプラグ（パソコン本体の電源が ON の状態での取り付け・取り外し）が可能です。しかし、これは「いつでも取り外して良い」という意味ではありません。本製品を取り外す場合は、以下のような点に注意してください。

- ・書き込みを行うソフトウェアが起動しているときに本製品を取り外してはいけません。取り外しはソフトウェアを終了してから行ってください。
- ・取り外しを行う前に、本製品からメディアを取り出しておいてください。
- ・本製品や併用している IEEE 1394 機器のアクセス中に、取り外してはいけません。

Macintosh 環境では、上記の点を確認し、デスクトップ上にメディアのアイコンがマウントされていない場合は取り外し可能です。

Windows 環境では、取り外しの際に、アンプラグと呼ばれる操作を行わなければなりません。下の手順をご参照ください。（Windows 98 Second Edition の場合、アンプラグを行うには IEEE 1394 ドライバのアップデートが必要です。）

Windows 環境でのアンプラグ手順

本製品にセットされたメディアからアプリケーションやデータファイルが開かれていないことを確認してください。

本製品を接続した状態では、タスクバーのシステムトレイに以下のようなアイコンが表示されます。このアイコンをクリックして、さらに表示されるポップアップ項目をクリックしてください。（ここで表示される項目の内容は使用 OS によって異なります。（次ページをご参照ください。）

Windows 2000 の例

この項目をクリック



このアイコンをクリック



Windows XP で表示されるアイコン

このアイコンをクリック

4.1 本製品を取り外す場合は

Windows XP の場合

「LOGITEC LCW IEEE 1394 SBP2 Device- ドライブ (E:) を安全に取り外します。」

Windows Me の場合

「IEEE 1394 CD-ROM - ドライブ(E:)の停止」

Windows 98 Second Edition の場合

「STOP 1394/USB CD-ROM - Drive (E:)」

Windows 2000 の場合

「LOGITEC LCW IEEE 1394 SBP2 Device - ドライブ (E:) を停止します。」

Point ポイント

いずれの場合も「E:」は本製品のドライブ名ですので、環境によって異なります。

デバイスを安全に取り外すことができることを示すウィンドウが表示されます。OK ボタンをクリックしてください。

Windows 2000 の例



OK ボタンをクリック

Point ポイント

- ・このウィンドウに表示されるメッセージも使用 OS によって異なります。
- ・Windows XP の場合は、「ハードウェアの取り外し」のフキダシが出て、自動的に消えるので、特に操作をする必要はありません。

ACアダプタとIEEE 1394ケーブル取り外し、本製品の電源をOFFにしてください。

4.2 トラブルシューティング

本製品がCD-ROMドライブとして認識されない。

ケーブルの接続に接触不良等がないかどうか確認してください。

電源コードの接続やコンセントの状態に問題がないかどうか確認してください。

IEEE1394インターフェースボードのドライバは正しくインストールされていますか？ また、使用OSのバージョンに問題はありますか？

本製品をIEEE1394ハブ経由で接続している場合は、パソコン(IEEE1394インターフェースボード)のIEEE1394ポートに直接接続して試してみてください。

多くのIEEE1394機器を接続している場合、ケーブル長の制限、台数の制限を超えていないかどうか確認してください。また、接続にループが発生していないかどうかを確認してください。これらの制限等については「4.6 IEEE1394機器の増設について」をご参照ください。

ご使用のパソコンの仕様によりPC電源連動機能がうまく動かない場合があります。その場合は、背面の電源スイッチを「ON」にして試してみてください。

Windows環境でご使用の場合は「4.3 デバイス上の登録名について」を参考に本製品が認識されていることを確認してください。認識されていない場合はいったん本製品を取り外し、再度接続してみてください。

Macintosh環境でご使用の場合は、「3.3 接続/インストール結果の確認」を参考に本製品が認識されていることを確認してください。認識されていない場合はいったん本製品を取り外し、再度接続してみてください。

本製品がライティング・ソフトウェアから認識されない。

ライティング・ソフトウェアを起動してから、本製品を接続しませんでしたか？ 本製品は必ずライティング・ソフトウェアを起動する前に接続してください。

ライティング・ソフトウェアは本製品付属のものを使用していますか？ 同じソフトウェアでもバージョンが古いと本製品に対応していない場合があります。

CD-R/RWメディアの書き込み時にエラーが多発する。

適切な使用環境で使用していますか？ 本製品の使用環境については、「4.5 使用環境について」をご参照ください。

適切なメディアを使用していますか？ メディアへ書き込みを行う場合、設定する書き込み速度に対応したメディアを使用しなければいけません。

イジェクトボタンを押してもトレイが排出されない。

「共通編：4 メディアのセット/取り出しについて」をご参照ください。

CD-ROM にアクセスできない

- ・OSがサポートするフォーマット形式のメディアですか？ Windows環境の場合、Macintosh用のCD-ROM(HFSフォーマット)はアクセスできません。
- ・そのメディアはオーディオCDではありませんか？通常のCD-ROMのようにアクセスできない場合はメディアプレーヤーなどで再生してください。

その他：ホームページについて

弊社、および添付ソフトウェアメーカー各社ではインターネット上にホームページを開設しています。ホームページには最新情報が掲載されている場合がありますのでご活用ください。

ロジテック株式会社

ホームページアドレス：<http://www.logitec.co.jp/>

株式会社アプリックス

ホームページアドレス：<http://www.aplix.co.jp/cdr/>

ロキシオ・ジャパン株式会社

ホームページアドレス：<http://www.roxio.co.jp/>

4.3 デバイス上の登録名について

(Windows のみ)

本製品がパソコン側から正常に認識されると Windows のデバイスマネージャに以下の項目が追加されます。

OS	項目	登録されるデバイス名
		IEEE 1394接続時
Windows XP	DVD/ CD- ROM ドライブ	LOGITEC LCW IEEE 1394 SBP2 Device
	SBP2 IEEE1394 デバイス	SBP2 準拠 IEEE 1394 SBP2 デバイス
Windows 2000	DVD/ CD- ROM ドライブ	LOGITEC LCW IEEE 1394 SBP2 Device
Windows Me	CD-ROM	BTC BCE5232IM
	SBP2	SBP2 Compliant IEEE 1394 デバイス
	記憶装置	IEEE 1394 CD-ROM
Windows 98 SE	CD-ROM	BTC BCE5232IM
	SBP2	SBP2 Compliant IEEE 1394 デバイス
	記憶装置	IEEE 1394/ USB CD-ROM

上のデバイスが登録されていない場合、本製品は認識されていません。いったんパソコンの電源を切り再度電源を入れて本製品を接続しなおしてみてください。

「デバイスマネージャ」の起動方法

Windows Me , 98 Second Edition の場合、「コントロールパネル」 「システム」を起動して、「システムのプロパティ」ウィンドウで「デバイスマネージャ」タブをクリックします。

Windows XP、2000 の場合は、「マイコンピュータ」を右クリックして「管理」をクリックすると、「コンピュータの管理」が表示されますので、「デバイスマネージャ」をクリックします。

4.4 Windows XPで直接書き込みを行う場合

Windows XPで、ライティングソフトウェアを使用しないで直接CD-R/RWへ書き込みを行う場合は、以下の手順で設定を確認してください。

コンピュータの管理者としてシステムにログオンし、「マイコンピュータ」から本製品のアイコンを右クリックして、表示されるプルダウンメニューから「プロパティ」をクリックします。

下のウィンドウが表示されますので、「このドライブでCD書き込みを有効にする」のチェックボックスにチェックを入れ、「CDイメージの保管先」、「書き込み速度」を設定して「OK」ボタンをクリックしてください。

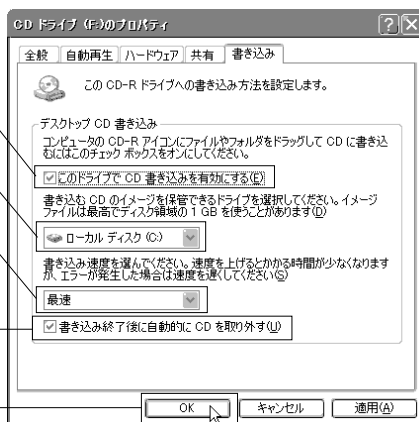
1.、「このドライブでCD書き込みを有効にする」には必ずチェックを入れます。

2. CDイメージの保管先を指定します。

3. 書き込み速度を選択します。

4. 必要に応じてチェックを入れます。

5. 「OK」ボタンをクリックします。



以上で本製品側の設定は終了です。書き込み方法については Windows XP のヘルプをご参照ください。

4.5 使用環境について

本節では本製品を使用する場合に必要なシステム環境(パソコン本体、メディアなど)の条件について説明します。必ずここに記載された環境条件下で本製品をご使用ください。

パソコン本体

Windows の場合

本製品は各社の DOS/V パソコン、および NEC PC98-NX シリーズのうち、以下の条件を満たす機種で使用することができます。

IEEE 1394 ポートを搭載している機種、もしくは弊社製 IEEE 1394 インターフェイスボードまたはカードを接続可能な機種。

Celeron®300MHz 以上の CPU を搭載していること。

64MB 以上のメモリを搭載していること。



ご注意

- ・当社 DOS/V 対応製品は、OADG(*1)加盟メーカーの DOS/V パソコンで確認を行っております。ただし、発売されている全ての DOS/V パソコンで動作確認を行うことは不可能です。そのため、一部に対応できない機種が存在致しますことをご承知おきください。また、自作パソコンやショップ製組み立てパソコンの場合、各種部品との相性などにより、本製品が正常に動作しない場合がございますことをご承知おきください。

(*1)OADG は「PC オープンアーキテクチャー推進協議会」の略です。

- ・本製品は日本電気株式会社 PC-9800 シリーズでは使用できません。

Macintosh の場合

アップルコンピュータ社

iMac (Flat Panel)

iMac (Early 2001)

iMac DV

eMac

Power Mac G5

Power Mac G4 (AGP Graphics 以降)

Power Mac G4 Cube

iBook (Late 2001)

iBook (Dual USB)

iBook (FireWire)

PowerBook G4

PowerBook (FireWire)

対応 OS

本製品は以下のOSで使用することができます。全て日本語版に限定されます。また、パソコン本体が対応していないOSでは使用することができません。

マイクロソフト株式会社

Windows XP Home Edition/Professional
Windows Me
Windows 98 Second Edition (IEEE 1394 アップデータ 要導入)
Windows 2000 Professional

Second Edition でない Windows 98 では本製品を使用できません。
IEEE1394 ポートを標準搭載した Windows パソコンの場合、プレインストールモデルに限ります。

アップルコンピュータ社

Mac OS 9.1 ~ 9.2.2
Mac OS X 10.2 以降



参考

最新の OS については、弊社ホームページをご参照ください。

推奨メディア

本製品での書き込みには、以下の各社から発売されているメディアをご使用ください。これ以外のメディアに関しては、弊社での保証は致しかねます。

< CD-R メディア >

52 倍速 / 48 倍速

太陽誘電(株)「That's」 三井化学(株) 三菱化学(株)

48 倍速以上に対応したメディアが必要です。

40 倍速以下

太陽誘電(株)「That's」 三井化学(株) 三菱化学(株)
(株)リコー

< CD-RW メディア >

(株)リコー 三菱化学(株) ()

32 倍速書き換えには三菱化学(株)のメディアをご使用ください。

メディアに関する注意事項

CD-R/CD-RWメディアには対応する書き込み速度があります。ライティングソフトウェアから指定する書き込み速度と同じか、それ以上の速度に対応したCD-R/CD-RWメディアをご使用ください。

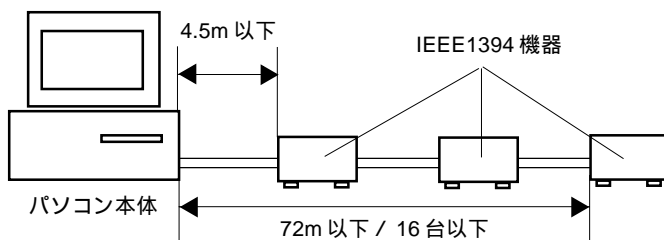
CD-RWメディアには

- 「Ultra Speed + タイプ」
- 「Ultra Speed タイプ」
- 「High Speed タイプ」
- 「Multi Speed タイプ」

の4種類があります。使用するメディアのタイプにより、書き込み速度が異なります。必要な書き込み速度に対応したCD-RWメディアをご使用ください。詳細は7ページ「書き込み・読み込み速度について」をご参照ください。

4 . 6 IEEE1394 機器の増設について

本製品のように IEEE1394 コネクタを 2 個装備している IEEE1394 機器は数珠つなぎ（デジチェーン型）に増設することができます。



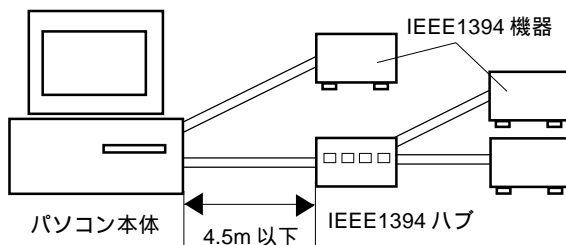
このような接続を行う場合、一本のケーブルの長さは最大 4.5m まで、ケーブル長の合計は最大 72m までに制限されます。また、IEEE1394 機器の台数は 16 台以下（パソコン本体を含まない）に制限されます。



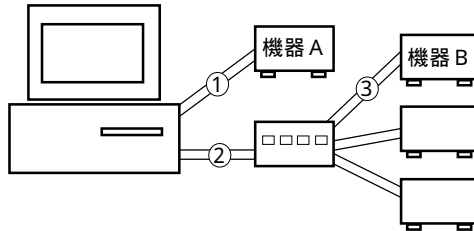
ご注意

デジチェーン型に増設する場合、ホットプラグ（電源 ON 状態での取り外し）を行う機器は終端に接続してください。中間の機器をホットプラグで取り外すと、他の機器に影響を与える場合があります。

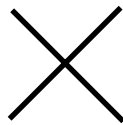
IEEE1394 コネクタを複数装備したインターフェースボードや、IEEE 1394 ハブを使用すると、接続を分岐させて「ツリー型」に増設することができます。この場合も 1 本のケーブルは最大 4.5m 以下です。接続台数は 62 台以下（パソコン本体を含まない）ですが、Windows 環境ではストレージ機器の台数はドライブ文字の限界（A: ~ Z: でシステムが使用していないもの）に制限されます。



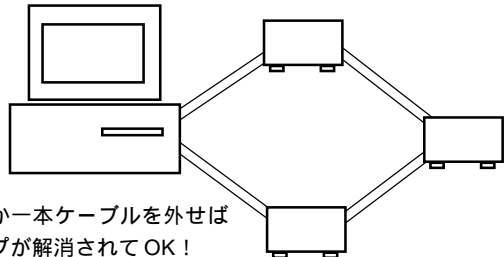
また、ツリー型の場合、IEEE1394 機器間で経路できるケーブルの本数に最大 16 本という制限があります。例えば下図の「機器 A」と「機器 B」の間には 3 本のケーブルが使用されています。このようにカウントしたときに、どの機器の間にも 16 本を越えるケーブルがあってはならないという制限です。



ツリー型の接続では接続形態が複雑になりがちですが、接続の中にループ（たどっていくと元に戻ってしまうような接続）があってはけません。



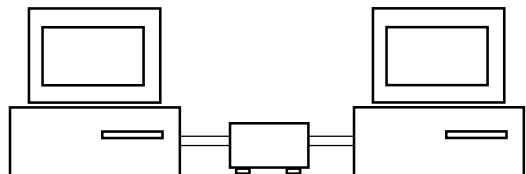
これはダメ



また、接続の中にパソコン本体が 2 台以上あってはいけません。



これはダメ



どっちで使うのかはっきり決めてよ!

MEMO

USB 編

目次

第1章	はじめに	45
1.1	USB 接続の概要	45
1.2	接続の前に	46
第2章	Windows 環境での接続とインストール	47
2.1	接続の手順	47
2.2	接続結果の確認	49
2.3	USB ドライバのインストール	50
2.4	ライティングソフトウェアのインストール	52
第3章	Macintosh 環境での接続とインストール	54
3.1	ライティングソフトウェアのインストール	54
3.2	接続の手順	56
3.3	接続/インストール結果の確認	58
第4章	補足事項	59
4.1	本製品の取り外しに関する注意事項	59
4.2	トラブルシューティング	61
4.3	デバイス上の登録名について	63
4.4	Windows XP で直接書き込みを行う場合	64
4.5	使用環境について	65

第1章 はじめに

1.1 USB 接続の概要

本製品を USB 接続する場合、以下のような特徴があります。

USB 2.0 インターフェース / USB 1.1 インターフェースのどちらにも接続して使用することができます。

USB 2.0 インターフェースに接続した場合、従来の USB 1.1 規格と比較して最大で約 40 倍 (480Mbps / High-Speed) の高速転送が可能です。また、USB 1.1 インターフェースにも接続可能であるため、汎用性が高く、多くのパソコン上で動作が可能です。

ホットプラグによる接続、取り外しが可能です。

ご注意

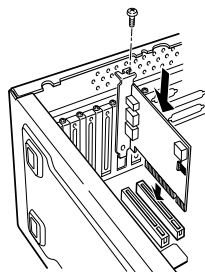
- ・ 本製品を USB 1.1 接続で使用する場合、書き込み / 読み込みの速度はすべて 8 倍速相当に制限されます。
- ・ 本製品への電源供給はセルフパワー (電源コードからの電源供給) でなければなりません。パスパワー (USB インターフェースからの電源供給) では使用できません。
- ・ 本製品に IEEE1394 ケーブル、USB ケーブルの両方を同時に接続しないでください。(USB 接続時には IEEE1394 ケーブルを外してください。)

1.2 接続の前に

USB 2.0 インターフェイスボードの接続

パソコン本体に USB 2.0 ポートがない場合は別売りのインターフェイスボード（PCI 用インターフェイスボード、もしくは CardBus 対応インターフェイスカード）が必要になります。

この場合、本製品の接続を行う前にインターフェイスボードのマニュアルにしたがって接続やドライバのインストールを行っておいてください。本製品を USB 1.1 ポートに接続して使用する場合はこの作業は不要です。（その場合の書き込み / 読み込み速度は最大 8 倍速相当に制限されます。）



PCIバス用 USB 2.0 インターフェイスボード

型番	バス	備考
LHA-USB2NH	PCI	インターフェイスボード単体 Windows、Mac OS X 10.2.8以降対応
LHA-USB2/M	PCI	インターフェイスボード単体 Windows、Mac OS X 10.2以降対応

CardBus対応 USB 2.0 インターフェイスカード

型番	バス	備考
LPM-CBUSB2H	CardBus	インターフェイスカード単体 Windows、Mac OS X 10.3以降対応
LPM-CBUSB2HA	CardBus	インターフェイスカード単体 Windows、Mac OS X 10.3以降対応

第 2 章 Windows®環境での 接続とインストール

ここでは Windows 環境での本製品の接続とライティングソフトウェアのインストール方法についてご説明いたします。

2 . 1 接続の手順

接続はパソコンの電源がONになっている状態で行います。

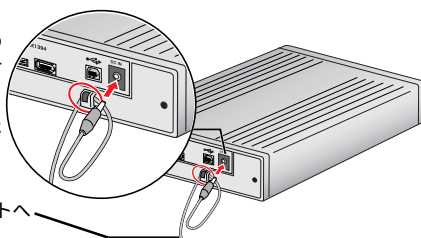
この時、Windows XP , 2000 をご使用の場合は管理者権限のあるユーザーとしてログオンしてください(「コンピュータの管理者」や「Administrator」等)。

接続の手順

付属のACアダプタを使用して、本製品のDCコネクタと電源コンセントを接続してください。

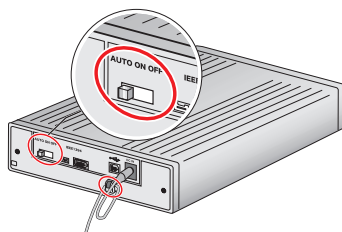
ACアダプタのコードは引き抜け防止のため、右図のようにケーブル抜け防止フックにかけておいてください。

電源コンセントへ

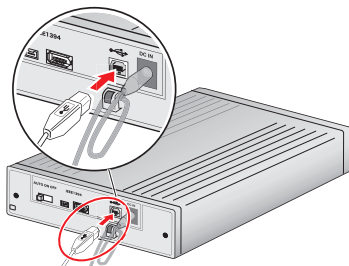


背面の電源スイッチを「AUTO」または「ON」に設定してください。

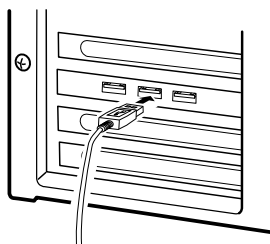
「AUTO」に設定するとPC電源連動機能が有効になります。



USBケーブルで本製品のUSBシリーズBコネクタと、パソコン本体のUSBポート(シリーズA)を接続してください。以上で接続は終了です。次ページの注意事項もご確認ください。



本製品側
断面が正方形に近いコネクタ



パソコン側
断面が平たいコネクタ

 **ご注意**

- ・本製品を IEEE1394 インターフェース、USB インターフェースの両方同時に接続することはできません。
- ・接続の際、必ず最初に本製品の電源を「AUTO」または「ON」にしてください。本製品に電源が供給されていない状態で接続を行うとトラブルが発生する場合があります。
- ・ご使用のパソコンの仕様によっては電源連動機能がうまく働かない場合があります。その場合は背面の電源スイッチにて電源のON/OFFを切り替えてください。
- ・本製品はバスパワーで使用することはできません。必ず電源コードをコンセントに接続してください。
- ・複数のUSB機器を使用している場合、他の機器が動作しているときに本製品を接続しないでください。トラブルの原因となります。
- ・本製品をUSB 2.0ポートへ接続する際は、ケーブルは必ず本製品付属のものか、USB 2.0 High-Speed 対応ケーブルを使用してください。USB 1.1用ケーブルで接続して使用すると、データの書き込みエラーなどの障害が発生します。
USB 1.1ポートへ接続し使用する場合も、本製品付属のものかUSB 2.0High-Speed 対応ケーブルをご使用ください。
- ・本製品をUSB 2.0で使用される場合、パソコン本体への接続は必ずUSB 2.0ポートへ接続してください。USB 1.1ポートでの使用も可能ですが、その場合CD-R/CD-RWメディアへの書き込み・読み込み速度は最大8倍速相当となります。
- ・USBハブを介しての接続はおやめください。正常に書き込み、読み込みができなくなります。

2 . 2 接続結果の確認

Windows 98（Second Edition 含む）をご使用の場合は、接続後にUSBドライバのインストールを行う必要があります。次ページ「2 . 3 USBドライバのインストール」へお進みください。

Windows XP , Me , 2000 の場合

接続後、本製品が自動的に認識されWindowsの標準ドライバがインストールされます。「マイコンピュータ」をダブルクリックして開き、以下のアイコンが新しく登録されていたら本製品は正しく認識されています。次に付属のライティングソフトウェアをインストールしてCD-R/RW書き込みの準備をします。「2 . 4 ライティングソフトウェアのインストール」へお進みください。



Windows XPで表示
されるアイコン



Windows Me , 98 , 2000 で
表示されるアイコン

アイコンが新しく登録されない場合は、第4章の「4 . 2 トラブルシューティング」に従ってチェックを行ってください。

2.3 USB ドライバのインストール

Windows 98 (Second Edition 含む) のみ

接続が完了すると、本製品がプラグ & プレイで認識されて、新しいハードウェアの追加ウィザードが起動します。

「次へ」をクリック



右のウィンドウが表示されます。

1. 「使用中のデバイスに・・・」が選択されている状態で
2. 「次へ」をクリック



右下のウィンドウが表示されたら、パソコン本体内蔵の CD-ROM ドライブに本製品付属の「SoftwarePack」CD-ROM をセットしてください。

1. 「検索場所の指定」だけがチェックされた状態にして
2. ここに、半角英数字で以下のように入力して

Q:¥DRIVERS¥mleusb



Point

ポイント

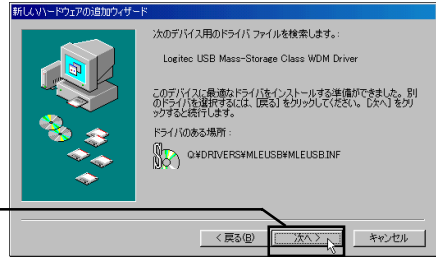
ここで「Q:」は CD-ROM ドライブのドライブ名です。異なる場合は正しいドライブ名を指定してください。

ドライブ名はマイコンピュータを開いて、「SoftwarePack」CD-ROM がセットされているアイコンの名前の一番端、または下に表示されます。



ドライブ名

右のウィンドウが表示されます。



「次へ」をクリック

必要なファイルがシステムに転送され、右のウィンドウが表示されます。



「完了」をクリック

以上でドライバのインストールは終了です。CD-ROM をドライブから取り出しておいてください。続いて、接続 / インストール結果の確認を行いますので 2 . 3 節に進んでください。

以上で USB ドライバのインストールは終了です。「マイコンピュータ」をダブルクリックして開き、右のアイコンが新しく登録されていたら本製品は正しく認識されています。次に付属のライティングソフトウェアをインストールして CD-R/RW 書き込みの準備をします。「2 . 4 ライティングソフトウェアのインストール」へお進みください。



アイコンが新しく登録されない場合は、第 4 章の「4 . 2 トラブルシューティング」に従ってチェックを行ってください。

2.4 ライティングソフトウェアのインストール

接続後、本製品はCD-ROMドライブ（リーダ）として使用することができます。ただし、まだソフトウェアがインストールされていないため、CD-R、CD-RWメディアへの書き込みはできません。

CD-R、CD-RWメディアへの書き込みには専用のソフトウェアを使用する必要があります。以下の手順で付属のCD-R/RWライティングソフトウェア「WinCDR Lite」をインストールしてください。

「WinCDR Lite」のインストール

インストール方法

本製品付属の「SoftwarePack」CD-ROMをCD-ROMトレイにセットしてください。自動的にセットアップランチャーが起動しますので「WinCDR Lite」のボタンをクリックしてください。

このボタンをクリック



右の画面が表示されます。「インストール」ボタンをクリックしてください。この後は画面の指示に従いインストールを実行してください。

このボタンをクリック



CD-ROMの自動挿入機能が有効になっていない場合は、上の画面が表示されません。その場合、タスクバー上の「スタート」ボタンをクリックして表示されるメニューから「ファイル名を指定して実行」を選択して、名前の横のテキストボックスに「Q:¥start.exe」を入力し、「OK」ボタンをクリックしてください。（「Q:」は「SoftwarePack」のCD-ROMがセットされたCD-ROMドライブのドライブ名です。異なる場合は正しいドライブ名を入力してください。）

「WinCDR Lite」をインストール中に以下の「ユーザー名&シリアル番号の登録」画面が表示されます。ご使用のユーザー名および「WinCDR Lite」のシリアル番号を入力してください。ここではすべて半角英数字を使用してください。全角文字での入力は無効となります。

ユーザー名とシリアル番号
をそれぞれ入力します。

- ・ユーザー名は半角で8文字から32文字までの英数字で入力してください。
- ・ここで入力するシリアル番号は「WinCDR Lite」のシリアル番号（株式会社アブリックスのお客様登録カードに記載されたもの）です。本製品自体のシリアル番号ではありませんのでご注意ください。

WinCDR Lite のシリアル番号は、本製品に同梱されている「WinCDR Lite ライセンスカード」の下の欄に貼られたシールに記載されています。

使用方法について

「WinCDR Lite」のご使用方法は、インストール後以下の場所に保存されているPDF形式の「ユーザーガイド」をご参照ください。

「スタート」 「プログラム」 「WinCDR」 「WinCDR ユーザーガイド」

WinCDR Lite のユーザーガイドはPDFファイル形式でソフトウェアと一緒にパソコンにインストールされます。PDFファイルを参照するには「Acrobat Reader」が必要となります。ご使用のパソコンに「Acrobat Reader」がインストールされていない場合は、セットアップランチャーの「サポート」ボタンをクリックして表示される画面からインストールできます。

⚠️ ご注意

メディアへの書き込みを行う場合、必ず本製品を接続してから、ライティングソフトウェアを起動してください。ライティングソフトウェアを起動後に本製品を接続すると、ライティングソフトウェア側から本製品が認識されない場合があります。

第 3 章

Macintosh®環境での 接続とインストール

ここではMacintosh環境での本製品のライティングソフトウェアのインストールと接続の方法についてご説明いたします。



ご注意

USB 接続の場合、Mac OS 9.2.2 以前の環境では本製品を使用することができません。IEEE1394 接続にてご使用ください。

3 . 1 ライティングソフトウェアのインストール

Macintosh環境では本製品を接続する前に必ず以下の手順で付属のライティングソフトウェア「Toast Lite」をインストールしてください。

「Toast Lite」のインストール手順

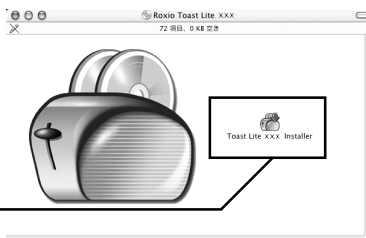
Macintosh のシステムを起動して、CD-ROM ドライブに本製品付属の「Software Pack」CD-ROM をセットしてください。

デスクトップにマウントされたCD-ROMのアイコンをダブルクリックしてください。

右の画面が表示されます。

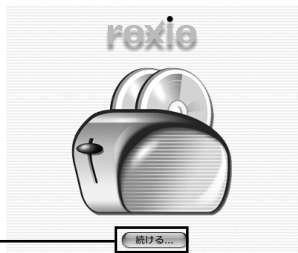
「Toast Lite x.x.x Installer」と書かれたアイコンをダブルクリックしてください。

このアイコンをダブル
クリック



x.x.x.の部分にはソフトウェアのバージョンが表示されます。

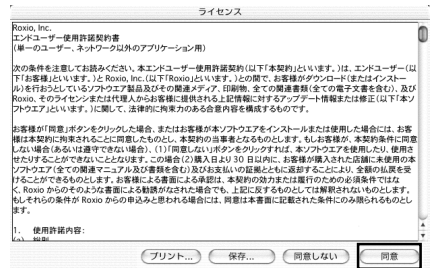
右の画面が表示されます。「続ける」ボタンをクリックしてください。



「続ける」をクリック

このインストールプログラムは、Roxio/Toastソフトウェアの Installer VISE で作成されました。

「使用権許諾契約書」の画面が表示されます。内容を良くご確認ください。「同意」ボタンをクリックしてください。



内容を確認し、同意する場合は「同意」をクリック

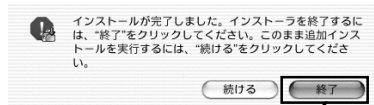
ここで「同意しない」をクリックするとインストールが中止されます。

右の画面が表示されます。「インストール」ボタンをクリックしてください。



「インストール」をクリック

インストールが実行され、終了すると以下の画面が表示されます。「終了」ボタンをクリックしてください。



「終了」をクリック

以上で「Toast Lite」のインストールは終了です。「SoftwarePack」CD-ROMをCD-ROMドライブから取り出しておいてください。次に本製品の接続を行います。「3.2 接続の手順」へお進みください。

3.2 接続の手順

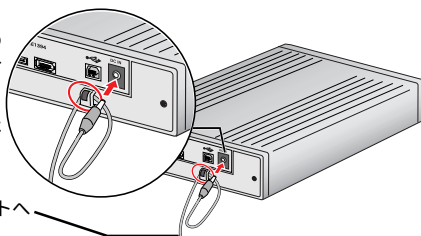
接続はパソコンの電源がONになっている状態で行います。

接続の手順

付属のACアダプタを使用して、本製品のDCコネクタと電源コンセントを接続してください。

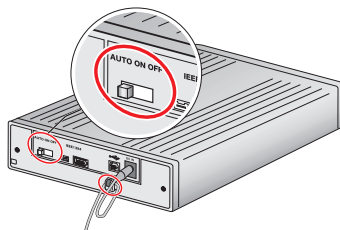
ACアダプタのコードは引き抜け防止のため、右図のようにケーブル抜け防止フックにかけておいてください。

電源コンセントへ

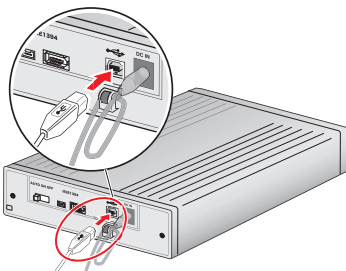


背面の電源スイッチを「AUTO」または「ON」に設定してください。

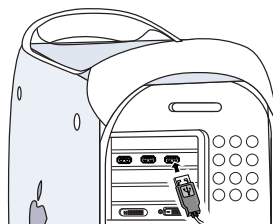
「AUTO」に設定するとPC電源連動機能が有効になります。




USBケーブルで本製品のUSBシリーズBコネクタと、パソコン本体のUSBポート(シリーズA)を接続してください。以上で接続は終了です。次ページの注意事項もご確認ください。



本製品側
断面が正方形に近いコネクタ



パソコン側
断面が平べったいコネクタ

 **ご注意**

- ・本製品をIEEE1394インターフェース、USBインターフェースの両方同時に接続することはできません。
- ・接続の際、必ず最初に本製品の電源を「AUTO」または「ON」にしてください。本製品に電源が供給されていない状態で接続を行うとトラブルが発生する場合があります。
- ・ご使用のパソコンの仕様によっては電源連動機能がうまく働かない場合があります。その場合は背面の電源スイッチにて電源のON/OFFを切り替えてください。
- ・本製品はバスパワーで使用することはできません。必ず電源コードをコンセントに接続してください。
- ・複数のUSB機器を使用している場合、他の機器が動作しているときに本製品を接続しないでください。トラブルの原因となります。
- ・本製品をUSB 2.0で使用される場合、パソコン本体への接続は必ずUSB 2.0ポートへ接続してください。USB 1.1ポートでの使用も可能ですが、その場合CD-R/CD-RWメディアへの書き込み・読み込み速度は最大8倍速相当となります。
- ・本製品をUSB 2.0ポートへ接続する際は、ケーブルは必ず本製品付属のものか、USB 2.0 High-Speed対応ケーブルを使用してください。USB 1.1用ケーブルで接続して使用すると、データの書き込みエラーなどの障害が発生します。USB 1.1ポートへ接続し使用する場合も本製品付属のものかUSB 2.0 High-Speed対応ケーブルをご使用ください。
- ・USBハブを介しての接続はおやめください。正常に書き込み、読み込みができなくなります。

3 . 3 接続 / インストール結果の確認

ここまでの作業が終了したら、「3 . 1 ライティングソフトウェアのインストール」でインストールしたライティング・ソフトウェア「Toast Lite」を起動して、メニューバーの「レコーダ」から「レコーダ情報」を選択し、「レコーダ情報」ウィンドウで本製品が選択されていることを確認してください。選択されていない場合は、ポップアップメニューの一覧から本製品の型番を選択します。

本製品の型番は「BTC BCE5232IM」になります。

確認が完了したら、作業は終了です。これでToast Lite上からCD-R/CD-RWメディアの書き込みを行うことができる状態になりました。書き込み方法についてはToast Liteのマニュアルをご参照ください。

第4章では本製品を取り外す場合の注意事項を説明しますので、そちらも必ずお読みください。

第4章 補足事項

4.1 本製品の取り外しに関する注意事項

本製品はインターフェースとしてUSBを採用しているため、ホットプラグオフ（パソコン本体の電源がONの状態での取り外し）が可能です。しかし、これは「いつでも取り外して良い」という意味ではありません。本製品を取り外す場合は、以下のような点に注意してください。

- ・書き込みを行うソフトウェアが起動しているときに、本製品を取り外してはいけません。取り外しはソフトウェアを終了してから行ってください。
- ・取り外しを行う前に、本製品からメディアを取り出しておいてください。
- ・本製品や併用しているUSB機器のアクセス中に、取り外してはいけません。

Macintosh環境では、上記の点を確認し、デスクトップ上にメディアのアイコンがマウントされていなければ取り外し可能です。

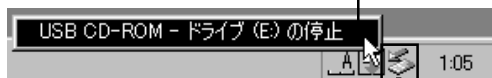
WindowsXP, Me, 2000の場合は、取り外しの際に、アンプラグと呼ばれる操作を行わなければなりません。下の手順をご参照ください。Windows 98（Second Edition 含む）の場合は、この操作は必要ありません。

Windows XP, Me, 2000 でのアンプラグ手順

本製品にセットされたメディアからアプリケーションやデータファイルが開かれていないことを確認してください。

本製品を接続した状態では、タスクバーのシステムトレイに以下のようなアイコンが表示されます。このアイコンをクリックして、さらに表示されるポップアップ項目をクリックしてください。ここで表示される項目の内容は使用OSによって異なります。（次ページ参照）

Windows Me の例



この項目をクリック

このアイコンをクリック



このアイコンをクリック

Windows XP で表示されるアイコン

Windows XP の場合

「USB 大容量記憶装置デバイス - ドライブ (E:) を安全に取り外します。」

Windows Me の場合

「USB CD-ROM - ドライブ(E:)の停止」

Windows 2000 の場合

「USB 大容量記憶装置デバイス - ドライブ (E:) を停止します。」

Point ポイント

いずれの場合も「E:」は本製品のドライブ名ですので、環境によって異なります。

デバイスを安全に取り外すことができることを示すウィンドウが表示されます。OK ボタンをクリックしてください。

Windows Me の例



OK ボタンをクリック

Point ポイント

- ・このウィンドウに表示されるメッセージも使用 OS によって異なります。
- ・Windows XP の場合は、「ハードウェアの取り外し」のフキダシが出て、自動的に消えるので、特に操作をする必要はありません。

USB ケーブルを外し、本製品の電源を OFF にしてください。

参考

電源スイッチを「AUTO」の位置にしていると、製品の取り外し（アンプラグ時、アンマウント時）に、本製品の電源が OFF になる場合があります。

4.2 トラブルシューティング

本製品がまったく認識されない。

- ・ケーブルの接続に接触不良等がないかどうか確認してください。
- ・電源コードの接続やコンセントの状態に問題がないかどうか確認してください。
- ・USB 2.0インターフェースボードのドライバは正しくインストールされていますか？ また、使用OSのバージョンに問題はありますか？
- ・ご使用のOS、パソコン本体は本製品の動作条件に適合していますか？ 「4.5 使用環境について」を参照してご確認ください。
- ・BIOSのセットアップでUSBが「Disabled（無効）」となっていないかご確認ください。
- ・ご使用のパソコンの仕様によりPC電源連動機能がうまく働かない場合があります。その場合は、背面の電源スイッチを「ON」にして試してみてください。
- ・本製品をハブ経由で接続している場合は、パソコンのポートに直接接続して試してみてください。本製品はハブ経由での接続では正しく動作しません。
- ・「4.3 デバイス上の登録名について」を参照し、本製品の項目が正しく登録されていることを確認してください。

本製品がライティング・ソフトウェアから認識されない。

- ・ソフトウェアを起動してから、本製品を接続しませんでしたか？ 本製品は必ずソフトウェアを起動する前に接続してください。
- ・ライティングソフトウェアは最新版のものを使用していますか？ 同じソフトウェアでもバージョンが古いと本製品に対応していない場合があります。

特定のCD-ROMにアクセスできない

- ・OSがサポートするフォーマット形式のメディアですか？ Windows環境では、Macintosh用のCD-ROM（HFSフォーマット）はアクセスできません。
- ・そのメディアはオーディオCDではありませんか？ 通常のCD-ROMのようにアクセスできない場合はメディアプレーヤーなどで再生してください。

イジェクトボタンを押してもトレイが排出されない。

「共通編：4 メディアのセット/取り出しについて」をご参照ください。

サスペンドモードから復帰できない。

- ・本製品はサスペンドモードなどの省電力モードをサポートしていません。サスペンド機能はOFFにしてご使用ください。

USB 2.0 インターフェースに接続しているのにメディアの読み出し動作が遅い。

- ・接続に使用しているUSBケーブルは本製品付属のもの、またはUSB 2.0 High-Speed対応のものですか？
- ・USBハブ経由で本製品を接続していませんか？ 本製品はUSBハブを介して接続すると正常に動作しません。

Windows 98 環境で USB ドライバをインストールしたが、マイコンピュータにアイコンが登録されない。

WinCDR 上の、「レコーダ選択画面」で「仮想レコーダ」のみが表示され、レコーダ名が表示されない。

USB ドライバの再インストールを行う必要があります。

1. 「4.3 デバイス上の登録名について」を参照しデバイスマネージャに必要なデバイスが登録されていることを確認してください。
2. 登録されていない場合、「デバイスマネージャ」ウィンドウに「?その他のデバイス」という項目と、その下に枝分かれが表示されているか確認してください。(枝分かれが表示されていない場合は、「?その他のデバイス」をダブルクリックしてください。)
3. 枝分かれの部分に「? LCW USB Device」と表示されていれば、それが誤って認識されたドライバです。
4. 「? LCW USB Device」をクリックし、選択状態にしてから画面内の「削除」ボタンをクリックします。
5. 「コントロールパネル」を閉じ、本製品をパソコンから取り外してから、パソコンをいったん終了させます。
6. パソコンを再度起動して、Windows が起動した後、本製品を接続してください。「新しいハードウェアの追加ウィザード」が起動しますので、この後は本書を参照し、インストール手順に従って作業を行ってください。

メディアの書き込み時にエラーが多発する。

- ・適切な使用環境で使用していますか？ 本製品の使用環境については、「4.5 使用環境について」をご参照ください。

その他：ホームページについて

弊社、および添付ソフトウェアメーカー各社ではインターネット上にホームページを開設しています。ホームページには最新情報が掲載されている場合がありますのでご活用ください。

ロジテック株式会社

ホームページアドレス：<http://www.logitec.co.jp/>

株式会社アプリックス

ホームページアドレス：<http://www.aplix.co.jp/cdr/>

ロキシオ・ジャパン株式会社

ホームページアドレス：<http://www.roxio.co.jp/>

4.3 デバイス上の登録名について

本製品がパソコン側から正常に認識されると Windows のデバイスマネージャに以下の項目が追加されます。

OS	項目	登録されるデバイス名
		USB接続時
Windows XP Windows 2000	DVD/ CD-ROM ドライブ	BTC BCE5232IM
	USB (Universal Serial Bus) コントローラ	USB大容量記憶装置デバイス
Windows Me	CD-ROM	BTC BCE5232IM
	ユニバーサルシリアル バス コントローラ	USB 大容量記憶装置デバイス
	記憶装置	USB CD- ROM
Windows 98 SE	CD-ROM	BTC BCE5232IM
	ハードディスク コントローラ	Logitech USB Mass- Strage Class Miniport Driver
	ユニバーサルシリアル バス コントローラ	Logitech USB Mass- Strage Class WDM Driver

上のデバイスが登録されていない場合、本製品は認識されていません。いったんパソコンの電源を切り再度電源を入れて本製品を接続しなおしてみてください。

Windows 98 Second Edition をご使用の場合は、電源を切る前に「? その他のデバイス」の下に「? LCW USB Device」という項目があるかどうかを確認してください。ある場合には、電源を切る前にその項目を削除して、再起動後に再度 USB ドライバをインストールしてください。

「デバイスマネージャ」の起動方法

Windows XP、2000 の場合は、「マイコンピュータ」を右クリックして「管理」をクリックすると、「コンピュータの管理」が表示されますので、「デバイスマネージャ」をクリックします。

Windows Me、98 の場合、「コントロールパネル」 「システム」を起動して、「システムのプロパティ」ウィンドウで「デバイスマネージャ」タブをクリックします。

4.4 Windows XP で直接書き込みを行う場合

Windows XP で、ライティングソフトウェアを使用しないで直接 CD-R/RW へ書き込みを行う場合は、以下の手順で設定を確認してください。

コンピュータの管理者としてシステムにログオンし、「マイコンピュータ」から本製品のアイコンを右クリックして、表示されるプルダウンメニューから「プロパティ」をクリックします。

下のウィンドウが表示されますので、「このドライブで CD 書き込みを有効にする」のチェックボックスにチェックを入れ、「CD イメージの保管先」、「書き込み速度」を設定して「OK」ボタンをクリックしてください。

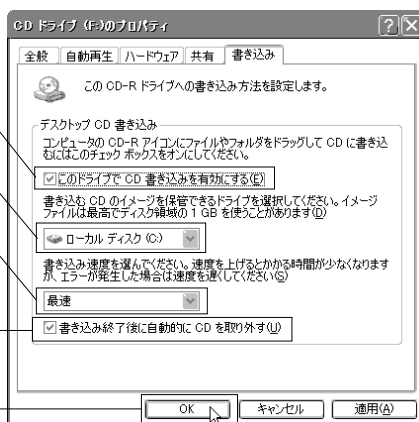
1.、「このドライブで CD 書き込みを有効にする」には必ずチェックを入れます。

2. CD イメージの保管先を指定します。

3. 書き込み速度を選択します。

4. 必要に応じてチェックを入れます。

5. 「OK」ボタンをクリックします。



以上で本製品側の設定は終了です。書き込み方法については Windows XP のヘルプをご参照ください。

4.5 使用環境について

本節では本製品を使用する場合に必要なシステム環境(パソコン本体、メディアなど)の条件について説明します。必ずここに記載された環境条件下で本製品をご使用ください。

パソコン本体

Windows 環境の場合

本製品は各社のDOS/Vパソコン、およびNEC PC98-NXシリーズのうち、以下の条件を満たす機種で使用することができます。

USBポート(USBはUHCI準拠)を搭載している機種。(OHCI準拠のUSB1.1ポートは保証外とさせていただきます。)

CD-R/CD-RWメディアへ10倍速以上で書き込みを行う場合はパソコン本体にUSB 2.0インターフェースが装備されていること。

Celeron® 300MHz以上のCPUを搭載していること。

64MB以上のメモリを搭載していること。

Macintosh 環境の場合

アップルコンピュータ社

iMac
Power Mac G5
Power Macintosh G3 (Blue and White)
iBook
PowerBook G4
PowerBook (FireWire)
PowerBook G3 (Bronze Keyboard)



ご注意

- ・当社DOS/V対応製品は、OADG(*1)加盟メーカーのDOS/Vパソコンで確認を行っております。ただし、発売されている全てのDOS/Vパソコンで動作確認を行うことは不可能です。そのため、一部に対応できない機種が存在致しますことをご承知おきください。また、自作パソコンやショップ製組み立てパソコンの場合、各種部品との相性などにより、本製品が正常に動作しない場合がございますことをご承知おきください。
(*1)OADGは「PCオープンアーキテクチャー推進協議会」の略です。
- ・USB 2.0インターフェースカードを使用して本製品を使用する場合、CD-R/RW書き込み時には、その他のPCカードを同時に使用しないでください。
- ・本製品は日本電気株式会社PC-9800シリーズでは使用できません。

対応 OS

本製品は以下のOSで使用することができます。全て日本語版に限定されます。
また、パソコン本体が対応していないOSでは使用できません。

マイクロソフト株式会社

Windows XP Home Edition/Professional
Windows Me
Windows 98 (Second Edition 含む)
Windows 2000 Professional

アップルコンピュータ社

Mac OS X 10.2 以降



参考

最新の OS については、弊社ホームページをご参照ください。

推奨メディア

本製品での書き込みには、以下の各社から発売されているメディアをご使用ください。これ以外のメディアに関しては、弊社での保証は致しかねます。

< CD-R メディア >

52 倍速 /48 倍速

太陽誘電(株)「That's」 三井化学(株) 三菱化学(株)

48 倍速以上に対応したメディアが必要です。

40 倍速以下

太陽誘電(株)「That's」 三井化学(株) 三菱化学(株)
(株)リコー

< CD-RW メディア >

(株)リコー 三菱化学(株) ()

32 倍速書き換えには三菱化学(株)のメディアをご使用ください。

メディアに関する注意事項

CD-R/CD-RWメディアには対応する書き込み速度があります。ライティングソフトウェアから指定する書き込み速度と同じか、それ以上の速度に対応したCD-R/CD-RWメディアをご使用ください。

CD-RWメディアには

「Ultra Speed + タイプ」

「Ultra Speed タイプ」

「High Speed タイプ」

「Multi Speed タイプ」

の4種類があります。使用するメディアのタイプにより、書き込み速度が異なります。必要な書き込み速度に対応したCD-RWメディアをご使用ください。詳細は7ページ「書き込み・読み込み速度について」をご参照ください。

